

福井空港再整備におけるワークショップ

2024.09.04(木)
第1回福井空港ワークショップ



2024.10.17(木)
第2回福井空港ワークショップ



2025.01.14(火)
第3回福井空港ワークショップ



9/4第1回ワークショップ



空港にあると良いもの

1.ビジネス客

- ・サテライトオフィス
- ・ワークスペース
- ・ラウンジスペース
- ・コワーキングスペース
- ・カフェ
- ・福井空港から主要空港への定期便
- ・レンタカーシェア

2.地元住民

- ・体験セスナ
- ・屋上開放
- ・見学スペース

3.子ども

- ・公園（子供用）
- ・子ども遊び場

4.県外観光客

- ・航空博物館
- ・サイエンスコンテンツ
- ・宇宙コンテンツ

5.交通機能

- ・バス、タクシーなどの停車場
- ・バスターミナル

6.情報メディア

- ・移住の魅力を発信
- ・空港ならではの情報
- ・地域の不足している機能

7.飲食

- ・土産ショップ
- ・地元食材の販売
- ・バー
- ・飲食店

8.実験場

- ・先端技術の実証実験
- ・自動運転

その他の意見

- ・福井空港ができる前からこのあたりに住んでいる方も多い。
 - 建設当時も空港ができると盛り上がる。
- ・現状が伝わらないことには何ができるのかわからない。
 - 情報をメディアで発信する。
- ・空間機能的に空港は目的型来店である。
 - 空港自体に誘因作用があると良い。
- ・研究、実験等は人の目にふれやすいのではないか。
 - 運転や技術等のキーワード

空港にあると良いもの

1.先端技術活用 ・ドローン飛行	4.観光・遊び ・子ども向け紙飛行機教室 ・フライトシミュレーション ・フォトスポット ・飛行機に関連した遊び場 ・インバウンド向け観光情報集約 ・イベントスペース	6.地域 ・地域の方の集会場 ・コミュニティスペース ・地域の不足している機能
2.防災 ・防災避難所 ・災害用備品 ・防災機能		7.学び ・子どもが空港の理解を深められる展示体験 ・飛行機などの資料施設
3.食・ショップ ・地場産業カフェ ・農家さんによる朝市 ・空港限定メニュー ・マニアックな空港土産	5.交通機能 ・エンゼルランドと空港を繋ぐ交通	

その他の意見

・昔は中学校の校歌に「飛行機」という歌詞があった、今は「東に緑に」というフレーズに変わっている →それほど福井空港は身近なものであった	・昔は、福井空港の二階にはジェット機の模型や卓球など遊べる場所があった →現在遊びの場が不足しているのでは
・春江駅に防災の拠点が集中しすぎている →福井空港に防災の拠点を分散させてはどうだろうか	・エンゼルランド⇄福井空港で遊びの繋がりを持たせてはどうか

C班で出てきた意見

10/6

空港にあると良いもの

- a. 他県から福井 / 福井空港へのアクション
- b. 福井 / 福井空港から他県へのアクション
- c. 地域から福井空港へ資する
- d. 福井空港から地域へ資する

1.ビジネス客

- ・ 主要空港や、地域空港をつなぐ
- ・ 福井空港から小松空港へ
- ・ 自由度の高い民間空港

2.地元住民

- ・ 泊まれる空港
- ・ キャンプ
- ・ 温泉

3.こども・福祉

- ・ こども園
- ・ 宮下パークのような広場
- ・ デイサービス
- ・ 街の避暑地・オアシス

4.飲食

- ・ 滑走路を眺められるようなカフェ
- ・ 夜の滑走路を眺められるアイリッシュバー
- ・ ビール醸造
- ・ カフェが立ち並ぶエリア
- ・ 福まちブロックのような飲み屋エリア

5.地域開放

- ・ 祭り
- ・ イベント
- ・ 体験、ワークショップ

6.次世代自動車

- ・ EV自動車の充電ステーション
- ・ 空港ならではの情報
- ・ 地域の不足している機能

7.災害やパンデミックの備え

- ・ 一時避難所
- ・ 地域のHPや施設のBCP支援

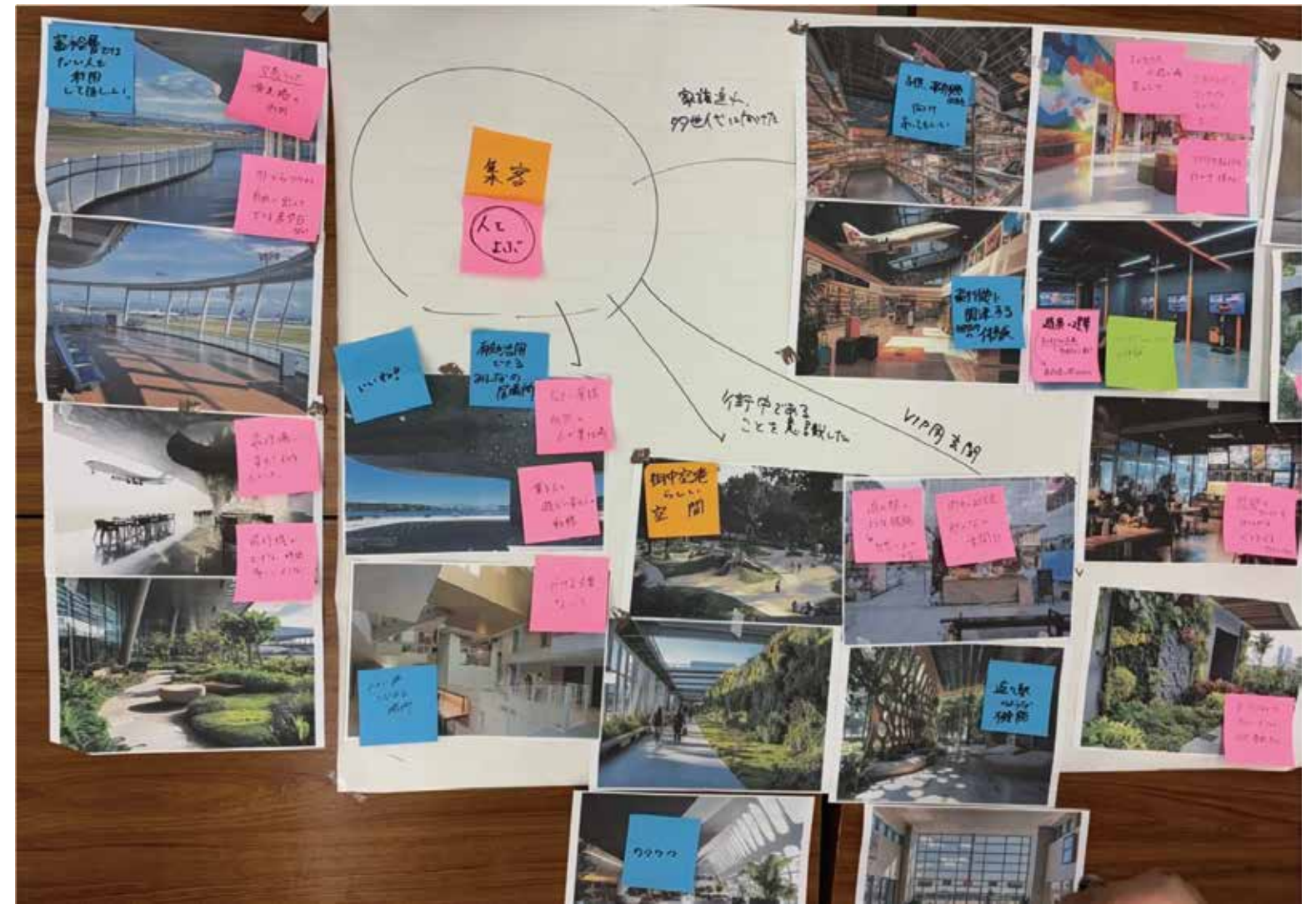
8.ランドスケープ

- ・ サイクリング
- ・ 散歩
- ・ ピクニック

その他の意見

- | | | |
|-----------------------|----------------------------------|--------------------------------------|
| ・ いろんな空港がハブしているバス、電車 | ・ 地方空港は不安定 | ・ 長崎 あまくさ空港 |
| ・ お土産や飲食店 | ・ 道の駅 のと里山空港 | ・ もっとお店とかあると楽しい |
| ・ 福井空港と空港そのもののイメージのずれ | ・ 海外との提携
小松から上海 富山から北京
タヒチ | ・ 滑走路が短くて済むような ATR 機の導入
30~40 くらい |
| ・ 空港は地域と揉めているイメージ | | |

10/17第2回ワークショップ



2024.10.17 空港 WS まとめ

議論段階のコメント

- ・ 特別感のある装いがあると良い。
- ・ スポーツ系の用途のパターンもみたい。
- ・ 滑走路の周りを走ることができる。
- ・ 宿泊施設などが併設されているなら宿泊したい。
- ・ 用途面積などの算定が必要。
- ・ 宙に浮かぶ飛行機があると良い。
- ・ 緑化については慎重な議論を要する。
- ・ 予算の問題をクリアしなければならない。
- ・ 空港で飲食を提供すると共にウェブで販売を行う。

発表内の発言

- ・ ミニチュア模型の販売があると良い。
- ・ 宿泊機能があれば良い。
- ・ 緑地散策するような体験。

目的来店



・ 空港についてからすぐ泊まれる



・ 朝散歩したい
・ 緑がある



・ 泊まれる空港
・ しっぽり



・ 滑走路に入る
・ スポーツ



・ 空中に浮かんでいる飛行機



・ 外部と直接つながる展望スペース



・ 健康テーマ
・ ヨガができるデッキ空間



・ 写真映え

☐ …肯定的なイメージ

☐ …否定的なイメージ



・ 商店街的なものは空港のイメージから離れている



・ 病院のイメージは違う



・ エンゼルランドがあるから緑はいらない



・ キャパオーバー
・ 金銭的に余裕なし

機会来店



・ ラウンジのような空間



・ 入口によってコンセプトが変わる



・ 多様な広さの飲食店



・ こじんまりした感じが良い



・ プライベートガーデン



・ 待合室



・ ロビーでない
・ 待合室



・ 予算が厳しい
・ あれば良い



・ 福井空港には広すぎる



・ 広すぎ

2024.10.17 空港 WS まとめ B 班

コンセプト 防災

議論段階のコメント

- ・ 地域に納得させる材料としての防災機能
- ・ 防災機能としての屋根付き広場
- ・ 2 次交通で避難方法の選択肢増加
- ・ 空港・駅・エンゼルランド・工技 C・工大あわら C などに拠点を置いたドローン・自動運転・JAXA との先端技術
- ・ 木素材・木漏れ日などの温かみを空港に
- ・ 雪国をイメージした駐車場を
- ・ 開放的デッキのイメージ
- ・ 風が通り抜ける場
- ・ 災害時には飲食店に変化 (有事との併用)
- ・ 入口が分かりやすい空港玄関に
- ・ 春江駅・エンゼルランド・空港などを繋ぐ公共交通機関
- ・ 待ち時間を過ごすカフェ
- ・ 離発着を SNS など発信
- ・ 可変できる空間 (VIP 向け)
- ・ 疑似体験できる遊び・学び空間

発表内の発言

- ・ 防災機能・先端技術を兼ね備えた地域に開かれた空間が必要とされる

☐ …肯定的なイメージ

開放的な空間

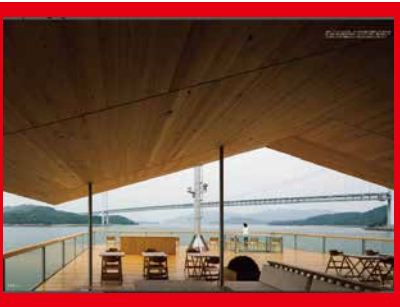


・ 外が見える
・ くつろげる



・ 中のイメージ

明快な空間



・ 屋根付き広場



・ 駐車場のイメージ

緑ある空間



・ 緑のあるイメージ



・ 椅子 (人が集う仕掛け)

滞在 + 情報提供空間



・ デジタルサイネージ付きカフェ

遊びのある空間



・ フライトシミュレーション



・ 遊びのある空間



・ お土産

☐ …否定的なイメージ

周辺敷地に沿わない空間



・ 空港周辺との違い



・ 暗い

2024.10.17 空港 WS まとめ

コンセプト 人を呼び込む

議論段階のコメント

- ・ 春江では里山空港のようなものはいらない
- ・ こどものため？ 来客用？
- ・ 自然が欲しい
- ・ 遊び場はいらない
- ・ 飛行機展示やショップ
- ・ 空港にきたという感覚
- ・ 様々な人の玄関口である
- ・ 必ずしも草木は必要ではない
- ・ 東西で分断されている風景をつなぐ要素

発表内のコメント

- ・ こどもの遊び場は必要
- ・ エンゼルランドとのコンセプトの違い
- ・ 街中空港らしさ
- ・ 空間の無駄は省くべき

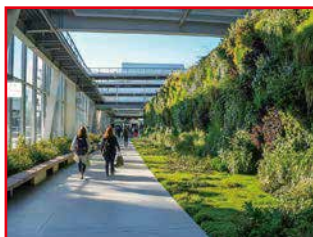
街中空港らしい空間



中のような
外のような空間



ワクワク



一般利用できる散歩道



搭乗者に限らない
空間利用



みんなの玄関口
道の駅のような機能



道の駅のような機能

有効活用できるみんなの居場所



機能を分けずに共存
人が留まる場所



外からのアクセスも
自由な出入り



空港らしい滑走路活用
富裕層でない人の利用も



飛行機が飛ばない
時間の方が多い

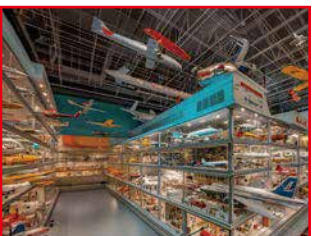


大屋根に自然と集う
乗る人遊ぶ人の動線

家族連れ・多世代に
向けた場のデザイン



飛行機に関連する
こども向けの体験



こども、飛行機付き
向けあってもいい



エンゼルランドとは
違うコンセプトで



遊具 × 建築
多世代の人が来るように
飛行機に関連するもの

VIP 用空間



飛行機や空を見ながら
くつろげる



オープンなところと
クローズなところ
VIP 専用など

□・・・肯定的なイメージ

□・・・否定的なイメージ

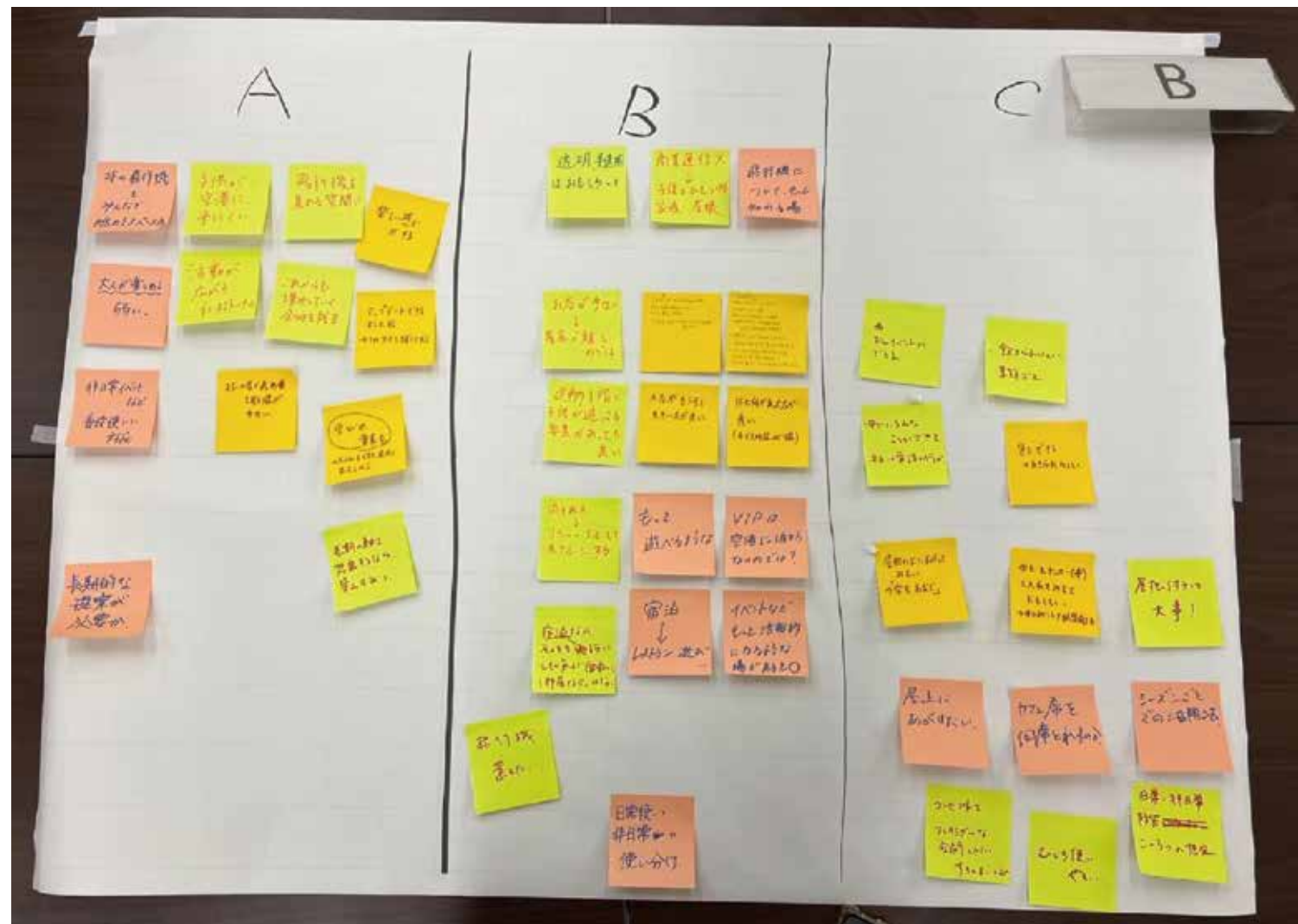


街中だと難しい



街中は周りの景色が×
建物が多すぎる

1/14第3回ワークショップ



新しい空港の姿をつくる機能

【健康促進】

- ・ 軽度の運動ができる
- ・ 健康的に過ごせる空港
- ・ 木の素材や木漏れ日の温かみ
- ・ 緑地散策するような体験
- ・ こどもの遊び場

【風景】

- ・ 地域に開かれた空間
- ・ 道の駅のような玄関口
- ・ 街中らしい空港の姿
- ・ 可変できる空間構成
- ・ 東西で分断されている風景をつなぐ

【VIP】

- ・ 宿泊

【空に関する体験】

- ・ 擬似体験できる遊び・学びの空間
- ・ パイロットの体験ができる
- ・ 飛行機展示やショップ

【一般開放された賑わい空間】

- ・ カフェ・レストランなどの飲食機能
- ・ リビングのような空港
- ・ 開放的な展望デッキ

【災害対策】

- ・ 災害時の利用
- ・ 防災機能も備えた屋根付き広場

コンセプト

a 案

- ・ 軽度の運動ができる
- ・ 健康的に過ごせる空港
- ・ こどもの遊び場



健康的に過ごせる空港

b 案

- ・ 緑地散策するような体験
- ・ 宿泊機能
- ・ 可変できる空間構成
- ・ カフェ・レストランなどの飲食機能



そらのえき / そらのやど

c 案

- ・ 飛行機について学べる
- ・ 可変できる空間構成



空を仰ぐ

全体で共通の要素

- ・ 東西で分断されている風景をつなぐ要素
- ・ 災害時の利用想定 ・ 木の素材や木漏れ日の温かみを

a. 健康的に過ごせる空港

コミュニケーションが誘発する公共性

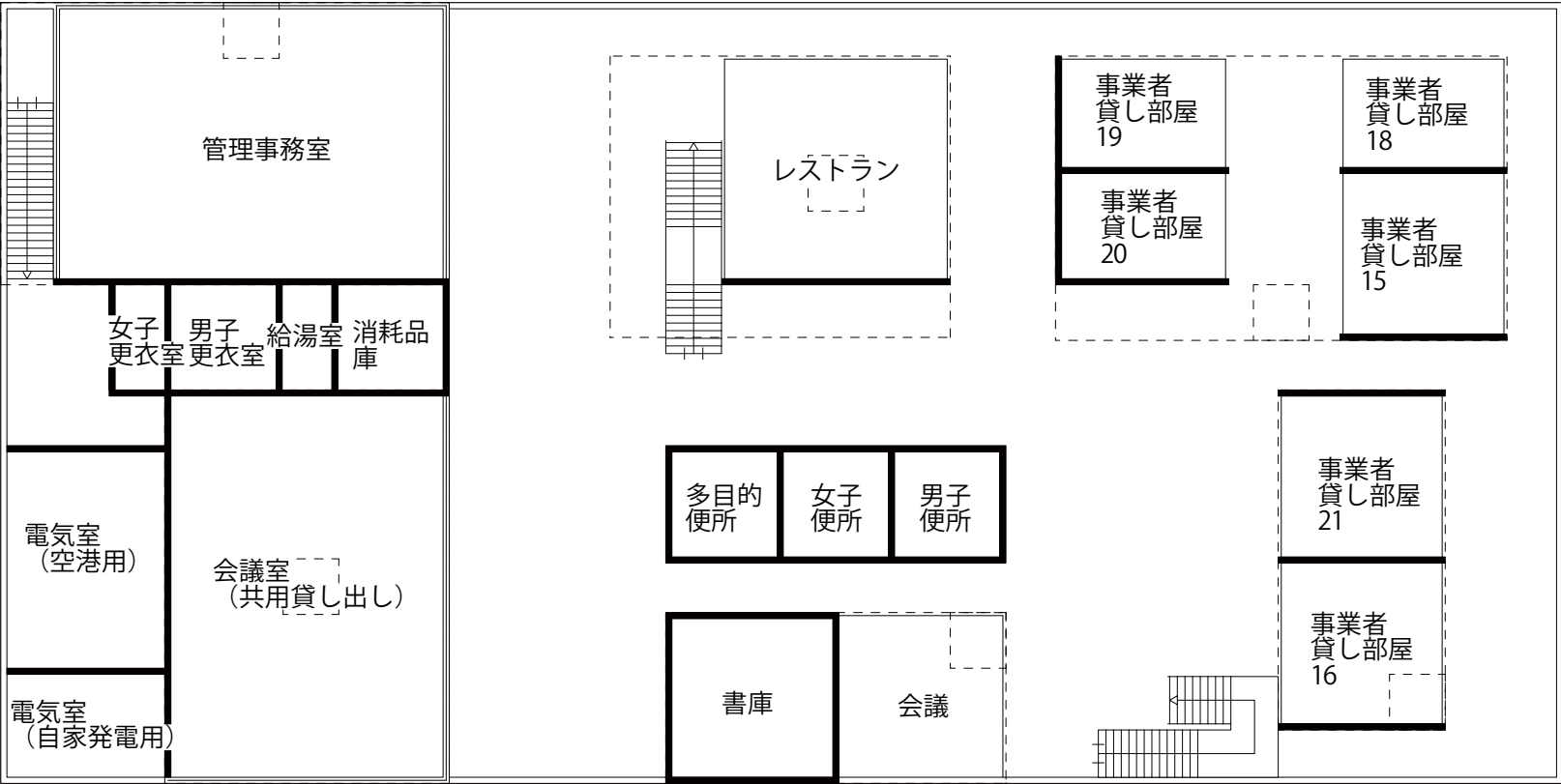


設計趣旨

1 階部分をこどもから大人まで自由に体を動かせる活動的なエリア、2 階部分はコワーキングなどにも適した静かで落ち着きのあるエリアとしています。

多様な活動がそれぞれのフロアで行われ、活動が重なり合いながらコミュニケーションが発生します。

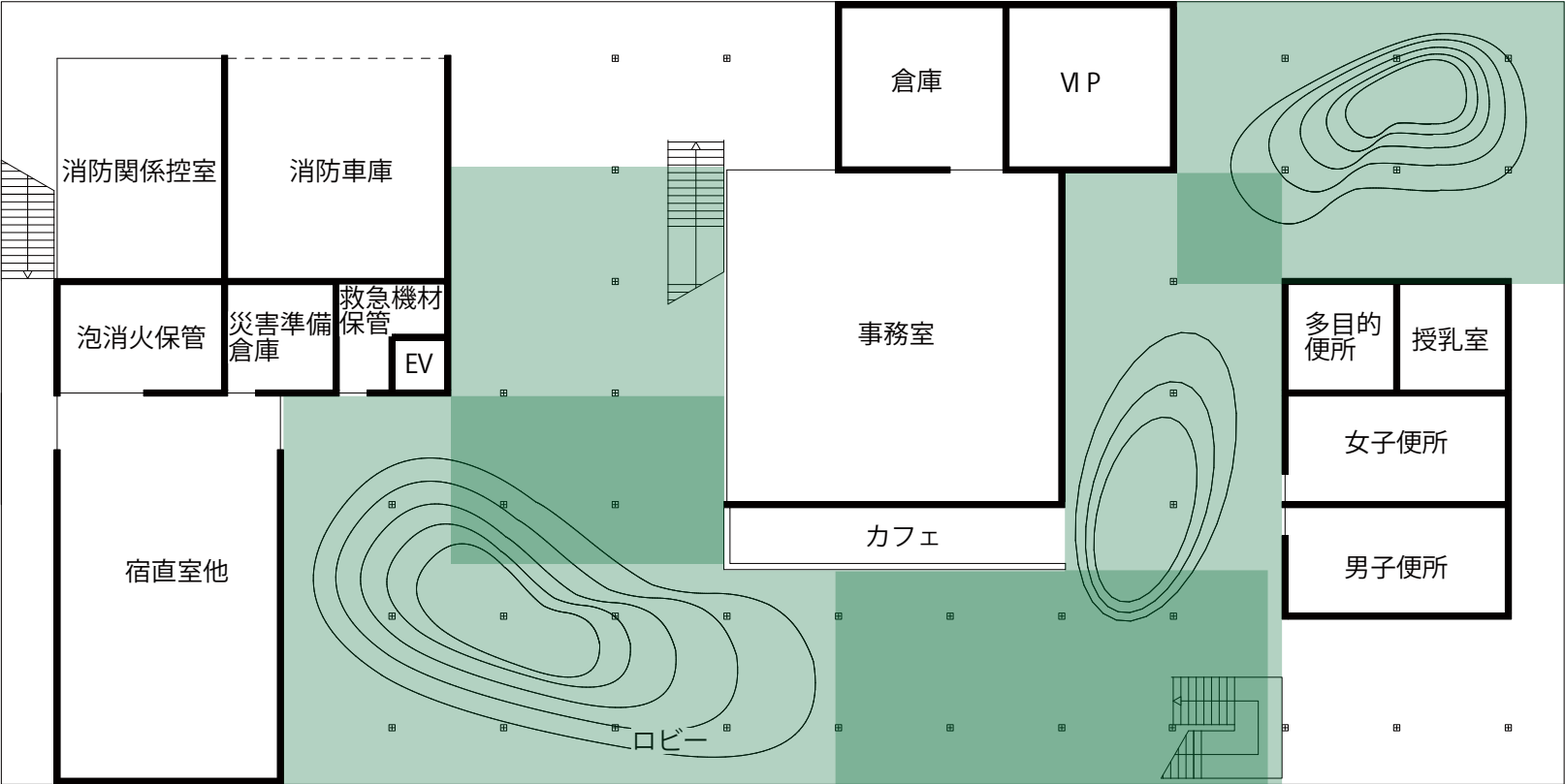
2階平面プラン



コワーキングなどにも適した静かで落ち着きのあるエリアとなります。



1階平面プラン



起伏があり、こどもから大人まで自由に体を動かせる活動的なエリアとなります。多様な活動がそれぞれのフロアで行われ、活動が重なり合いながらコミュニケーションが発生し、公共性が生まれます。



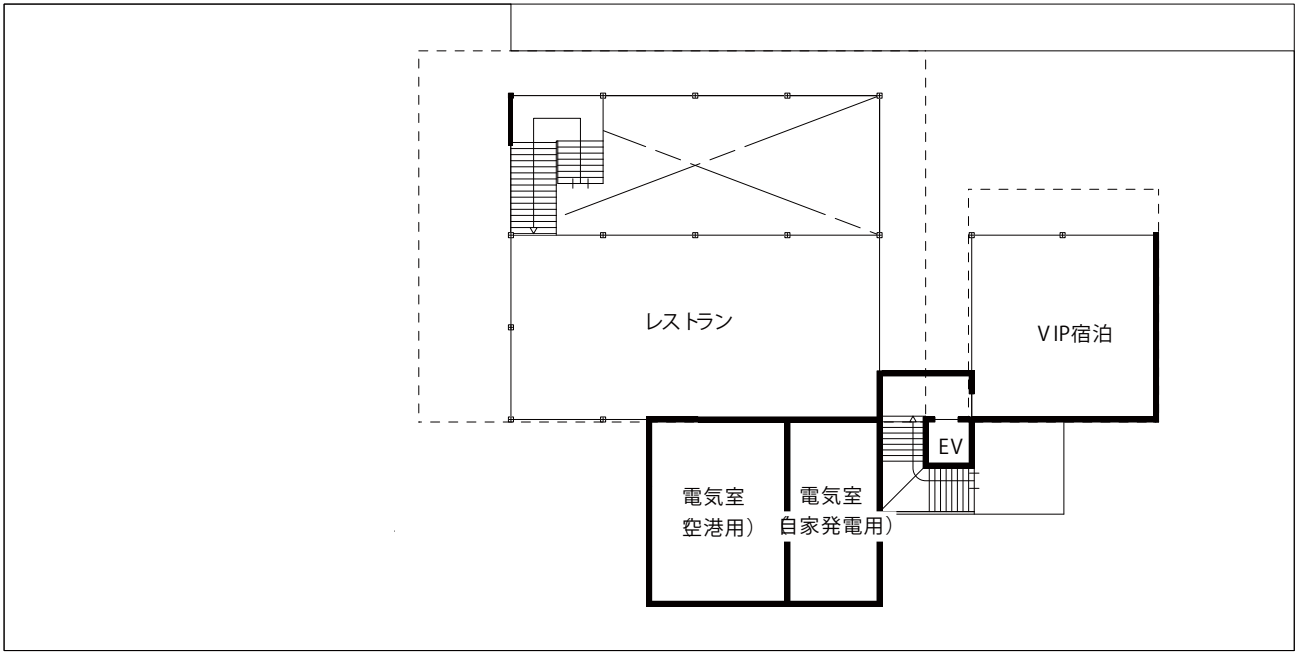
b. そらのえき / そらのやど アクティビティの集積によるまちの営みの可視化



設計趣旨

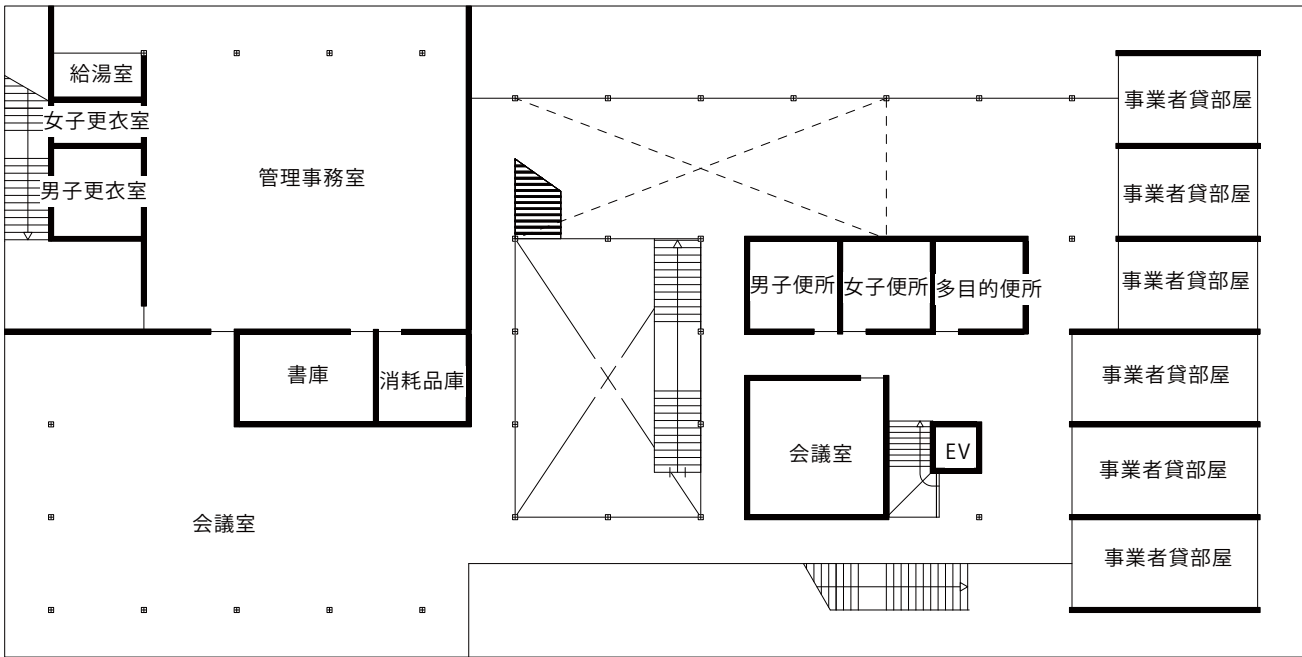
普段建物のなかで行われている人々の営みや動きを外部へと開放し、滑走路側とまちの風景をつなぐことを試みました。外観のスクリーンは内部の機能によって透明、半透明を使い分けており、透明部分は内部の活動や人のにぎわいを素直に伝え、半透明部分は内外の関係をゆるやかに隔てています。

3階平面プラン



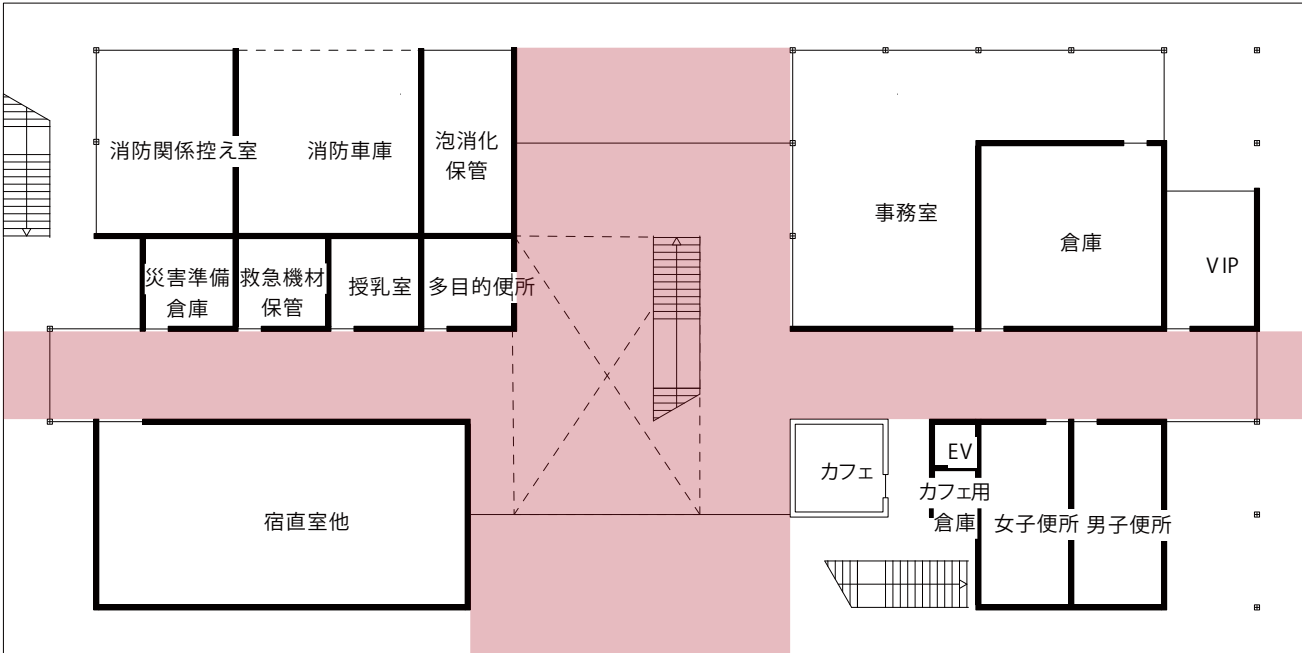
VIPの宿泊施設、一般開放されている屋根付き広場、レストランなどが配置されています。

2階平面プラン



滑走路側の風景を眺められる展望デッキがあり、コワーキングにも適した静かな空間としています。

1階平面プラン



通常時には、開けた活動的なエリアであり、災害時には緊急対応できる動線も確保しています。



C. 空を仰ぐ

浮遊するステージがつくる透過する空と都市風景



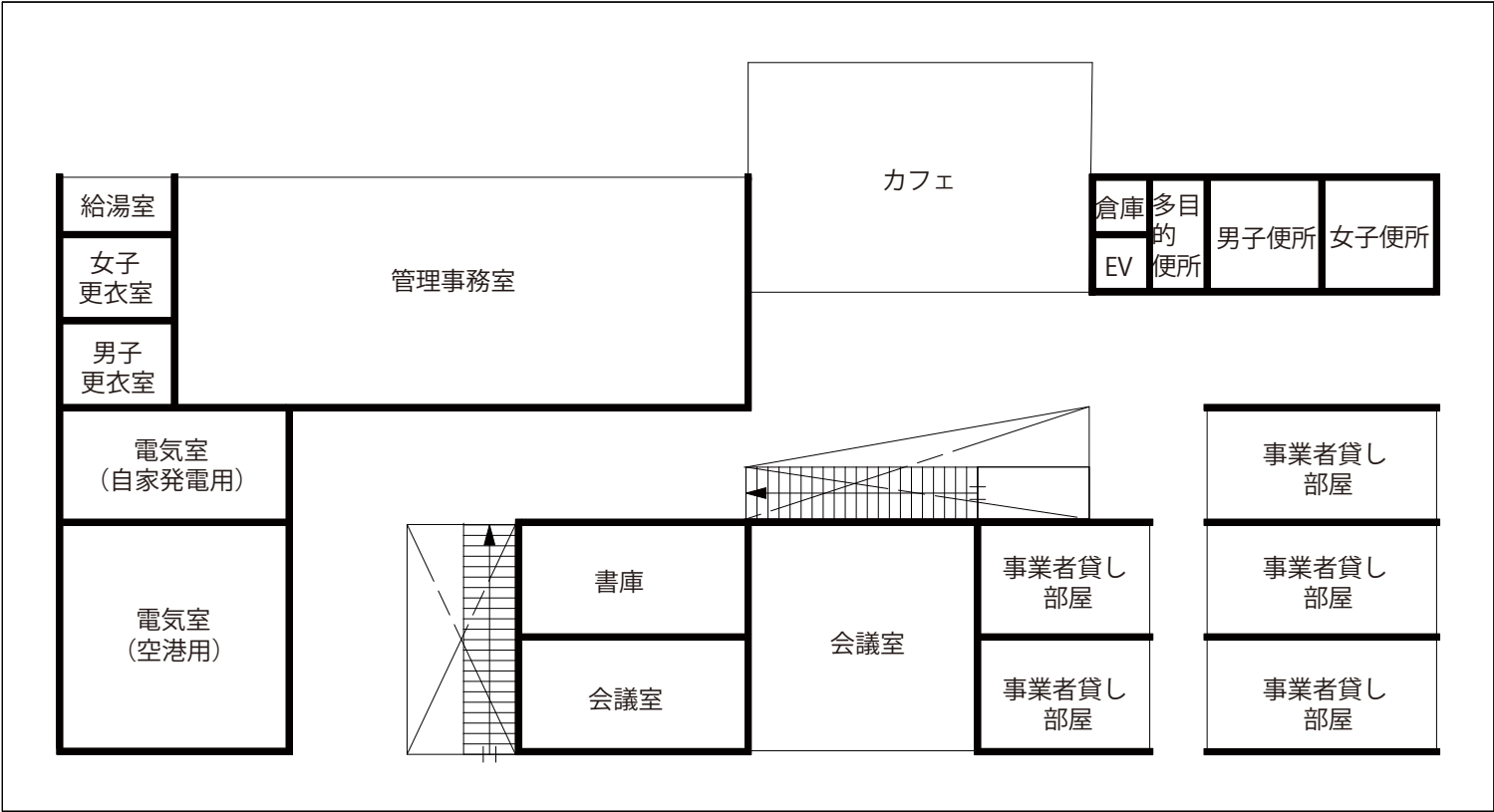
設計趣旨

1階と2階の間を1層分高く設けることで滑走路側とまちがつながる空間を作ることを試みました。

この層は中にいても外にいても滑走路側の空を仰ぐことができます。

大きく吹き抜けた空間のなかで柱や壁があることにより、人々の拠り所になる空間があります。

2階平面プラン



滑走路側の風景を眺められるカフェがあり、非日常的な空間になります。



1階平面プラン



柱と壁によって大きく抜けた空間を緩やかにわけ、人々の拠り所となる空間となります。
ゆとりのある空間が人々の多様な活動を受け入れます。



外構デザイン



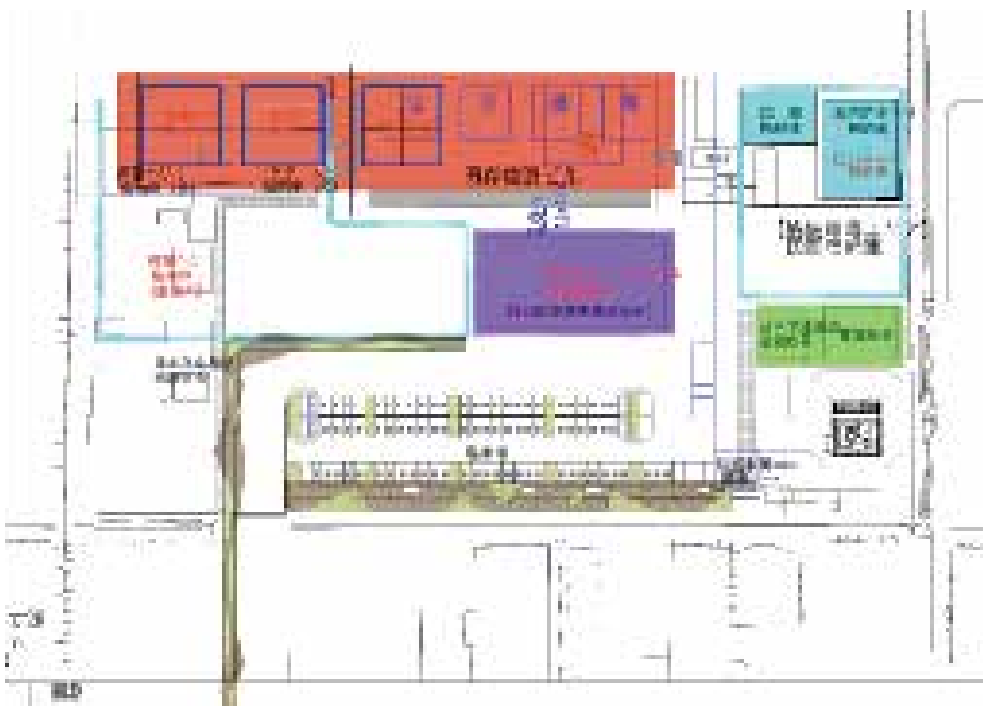
- ・ 木造
- ・ 雨風を凌げる屋根付きの回廊
- ・ 車の通りに合わせて高く設定
- ・ 活動的になるための広さと賑わいの場となるための広さ

空とまちと人が織りなす余白

福井空港ビル再整備の提案



01. 配置図



S=1/2000 N

02. コンセプト



空港の近隣には、近年コミュニティ施設や商業施設、研究拠点などが充実してきている一方で、憩いの場はエンゼルランドに限られている。豊かなまちに共通する、豊かさを生み出す「余白」をこの地につくり出すことで、エリア全体の魅力を高めていく。

新たな余白の創出

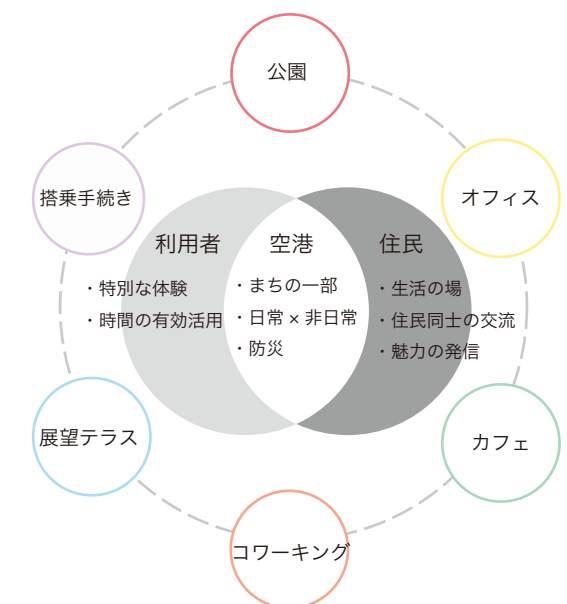
- ・地域住民や空港利用者が活動・交流する空間
- ・日常と非日常の特別な体験が入り交じる場所



03. デザインコンセプト

- ・大階段による上下階の連続
- ・木造がつくる親和性
- ・将来の増改築が可能なシンプルな構造体
- ・吹抜けによる上下の連続
- ・透明性により、アクティビティや風景がまちの風景に溶け込み空港とまちが融和する

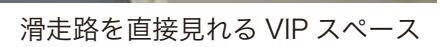
04. 機能



空港はまちの一部として日常と非日常が交わる空間であり、防災拠点としても機能する。地域住民にとっては生活や交流、魅力発信の場となり、利用者にとっては特別な体験や時間の有効活用ができる場所。公園、カフェ、オフィス、コワーキング、展望テラス、搭乗手続きなどの機能を取り入れ、日常と非日常の両方に開かれた空港をつくる。

2階

1階



外構デザイン（改訂版）



アプローチ部分

- ・道路から見て空港だとすぐに分かるようなアプローチ
- ・道幅に変化をつけ、緑地帯を設けることで歩いても楽しめるような空間



駐車場部分

- ・テラス部分に東屋
- ・バリアフリーな空間